

# 大かや

部内資料

さいたま市中央区  
日本共産党後援会  
ニュース

第115号

さいたま市  
中央区本町東  
2-16-10

☎ 048-852-6710

## 金額も使い道も不明だらけ

### 訂正は「裏金」の証明 関係議員の証人喚問を

赤旗日曜版2月18日号によれば、安倍派を中心に裏金を受け取っていた自民党議員が、いつせいに政治資金報告書の訂正を出しました。しかし、その中身は「金額」「日付」「支出先」あげくのはてに「総額」まですべて不明(2028万円を受け取った萩生田光一自民党前政調会長)。これでは、政治資金規正法にもとづ

く支出とは言えません。裏金そのものです。私たちの確定申告では絶対通用しないものです。

1019万円を受けとつた高木毅前国対委員長の訂正も「会合費」「お品代」「交通費」をあげながら金額はすべて不明。お品代といつても何か不明。これも税務署は支出として認めません。

3526万円を記載しなかった二階俊博自民党元幹事長の訂正は、なんと「書籍代」3500万円。二階氏は、過去20年間に自民党から使

い道の公表義務がない「政策活動費」を50億2千万円も受け取っています。一般国民や企業には認められないことが、政治家だけにはまかり通っています。

こんな「訂正」で済ますことはできません。関係議員全員の証人喚問を求めて声を上げていきましょう。パーティ券も含め企業団体献金は禁止すべきです。

大企業奉仕、国民無視の自民党政治を終わりに

大企業はパーティ券を買って、政治を自分たちに都合のいいようにゆがめています。私たちに多額の消費税を負担させて、法人税はほとんど安くしてもらっています。多くの社員を非正規に置き換え、コストカットで利益だけは増やしてきました。その結果国内需要は低迷。とうとう日本のGDPはドイツに抜かれて4位に転落してしまいました。大企業優先の自民党政治は終わりにしましょう。

補助の場合、自宅と工房を兼用している職人さんは支援が受けられないなど国の支援制度には実態にあわな

いものが多いことです。

地盤が隆起して使えなくなった漁港などの再建は、地元だけでは不可能です。しかし、東日本大震災のときのように、地元の声も聞かずに国の復興方針を押し付けるようなことがあつてはなりません。

災害想定が見直されていなかった

今回の救援活動の遅れや避難所の整備の遅れは、東日本大震災後、地震規模の想定を見直したのに、災害想定は見直されず、全壊家屋は輪島市で2棟、珠洲市はゼロのまま四半世紀も放置されていたことです。国や自治体に命を守る真剣な対応を求めたいものです。

でたらめ修正で逃げ切りは許さない



## 被災地復興に国の支援を早く

発生から一か月半が立ちましたが、まだがれきの除去も進んでおらず、水道の復旧も大幅に遅れ、住宅再建など生活基盤はまだ失われたままです。

能登の伝統産業輪島塗や漁港が使用不能となった漁業関係など生業(なりわい)の再建には、国の支援の大幅な強化が求められています。

制度あつても使えない、対象外など多い

その中で明らかにしたこと、輪島塗などで活用が想定される政府の仮設工房

## けんけんがくがく

先月開かれた日本共産党大会で、青年たちの発言が強く印象に残った。党を強くしたいと学び、考え、行動する、その信念の底にながめるのだらう▼「失われた30年」といわれる時代、困窮、差別、無権利のなか、社会を変えるなんて考えたこともなかった。どうやって変える? どんな社会にする? 闘うってどういうこと? 共産党って? もっと学びたい、仲間がほしい。党に加わり、仲間と学び、やがて透徹した目で前を見据える▼戦前、20代の小林多喜二や伊藤千代子らが闘ったように、現代の若き党員は、しなやかな知性で新しい戦前に対峙する。25歳の多喜二が書いた小説『東風俱安行』最後の場面。貧しい老闘士の姿を前に主人公の青年は覚悟を決める。「この運動は何代がかりのものになるだろう」と。そして100年▼「日本共産党に入党す」と題する俳句2句を『俳壇』12月号が掲載した。作者は新進気鋭の俳人・家登みろく。「見よ 同志 天穹(てんきゅう) 涯(はて)まで 鬮雲(こまぐも)。空にどこまでも広がる鬮雲に党の隊列を重ねる。その意気やよし。

(桜丘・安保慶穂)

### たけこし連 生活相談

毎週水曜日 午後1:30~4:30 無料  
午後1:30~4:30 予約はいりません。  
直接事務所へどうぞ

### 法律相談 毎月1回 第4水曜日

午後1:30~4:30 弁護士がいます。法律相談は予約が必要です。☎829-1811

# 故山崎章さんを偲ぶ会に参加して

日本共産党中央区委員会事務局長 嶋谷とさ子

2月10日土曜日の午後、市民会館おみやにて、故山崎章さんを偲び、思い出を語る会が行われました。天候の悪化が心配されましたが、朝から晴天に恵まれ穏やかな日となりました。

に、家族の皆さん、地域の仲間、中学の同級生など多くの方が参列、山崎さんの生前の思い出を語り合うことが出来た。この日は、たけこし連市議、清水勇人さいたま市長、伊藤岳参院議員、神田義行前さいたま市議、中央区委員会の嶋谷の5人が弔辞としてそれぞれの思いを語り、長男の亮さんからは遺族を代表して長い間、議員活動を支えた家族の思いや、これからは父親の思いを大切に生きていきたいと、思いをお話していただきました。

会場中央の祭壇にはさいたま市議時代に共産党議員団で撮影した笑顔あふれる写真が遺影として大きく飾られ、山崎さんが大好きだった花に囲まれ温かい空気に包れま

亡くなられてから半年がたち、残念な気持ちと、もともと生きていて欲しかった思いがよみがえりました。この日はさいたま市議会を中心

と、中央区からも多くの方が参列していただき本当にありがとうございました。

当日の司会は、山崎さんから宣伝カーのアナウンサーとしていつも駆けつけてくれた、原富真理子さんが引き受けてくれました。山崎さんもきつと喜んでくれていることでしょう。

中央区からも多くの方が参列していただき本当にありがとうございました。

今後はたけこし連市議とともに故山崎章さんの遺志を引き継ぎ、市民要求実現目指して頑張っていきます。



偲ぶ会で挨拶する松村さいたま地区委員長

## 「赤旗」の宣伝と能登半島地震の支援募金に取り組みました

1月30日(火)夕方4時30分から1時間、与野本町駅で宣伝行動を行いました。

広く区民に共産党の機関紙「赤旗」を知ってもらおうと、中央区の後援会が取り組みました。仕事帰りの方、買い物途中の方にハンドマイクで党を宣伝。能登半島地震の震災募金にも協力を訴え、約2000円が集まりました。初めての行動でしたが、当日の参加者は8人で11部の日曜版を配布することができました。(新中里 吉原)

2月15日、さいたま市議会2月議会の代表質問で、与野中央公園5000人アリーナ計画について質問を行いました。

質問では、旧与野市時代の計画図と現計画の比較を行いながら、当時の説明とあまりにも今の計画が乖離していることを主張しました。旧計画では与野中央公園にだるま山やアスレチック、水の広場、広大なくさはら広場など、文字通り「緑と水が豊かな市民が憩える公園」のイメージが示され



## 代表質問で与野中央公園の5000人アリーナ計画を質しました

ていますが、現計画では、くさはら広場が大幅に削られ、その他付随施設の代わりに5000人アリーナが鎮座するものとなっています。市は「計画変更はあくまで、市の計画に基づいたもの」と強

弁しましたが、比較すれば、どれだけ当初イメージから離れているかは明らかです。現在、与野中央公園の周辺整備として、取り付け道路の建設が行われていますが、この影響で、周辺の住宅では境

界ブロックの割れや雨水管の損傷、室外機の傾きなどが起きています。市は「工事との因果関係が証明されていない」と補償や調査を拒んでいましたが、今回の代表質問で、実態調査の実施およびその結果で工事との関係が確認できれば適切に補償を行うことを表明しました。(この模様は2月16日の埼玉新聞で報道) これまで、与野中央公園関連の質問には渋い回答ばかりでしたが、初めて前進した答弁でした。

しかしながら目標はあくまで、与野中央公園の5000人アリーナ計画の撤回です。引き続き、この立場を堅持しながら全力を尽くしていきたいと思えます。(たけこし連)

埼玉5区予定候補  
たけこし連市議  
前進座の出し物も



読者の絵画「静物」吉原恵美子さん



3月23日(土)

総選挙勝利中央区春を呼ぶつどい

午後6時半、産業文化センター3階会議室

弁士 山本ゆう子衆院

総選挙勝利  
中央区春を  
呼ぶつどい  
ぜひご参加  
ください